

番号	4		事業名	砂防		市町村名	安曇野市		路河川名	(砂)富士尾沢川		箇所名(ふりがな)	豊里(とよさと)				
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>○流域には広く花崗岩が分布。風化によるマサ化が著しく進行し土砂生産源となっている。</p> <p>○平成16年10月の台風23号では大量の土砂が流出し、下流の豊里・嵩下地区で被害が発生。</p> <p>○平成19年事業着手、H22～25本工事実施</p>													②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)		評価
	<p>○堆積工の堆砂敷きや法面は植生が回復、現地発生材を護岸・護床として利用し自然環境に配慮。</p>														B		
事業目的	<p>○平成16年10月の台風23号では、大量の土砂流出により、下流の豊里・嵩下地区で被害が発生。流域は荒廃し、次の出水等で、土石流や流木が発生し、被害拡大の恐れがある。このため、堆積工整備により下流域の人家30戸、県道・市道等を土砂災害から保全するものである。</p>													③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)		評価
事業概要	当初工期	H19～H23	費用対効果(当初時)	2.01	事業費(千円)	財源内訳(千円)				<p>○毎年点検・パトロールを実施している。</p> <p>○除石計画に基づき、掘削等の維持管理を行う。</p>		B					
	最終工期	H19～H25	費用対効果(評価時)	1.63	上段:当初/下段:最終()は国補事業分以内数	国庫	その他	県債	一般財源								
	当初計画内容(主な工種)	堆積工 L=230.1m W=24.5m			330,000	165,000		148,500	16,500	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)		評価					
	最終事業実績(主な工種)	堆積工 L=230.1m W=24.5m			409,110	204,555		184,100	20,455	<p>土砂災害発生時の対応や施設整備に対し、以下のとおり地域から高い評価を得ている。(嵩下区長及び地区住民)</p> <p>○災害発生後、安全パトロールの実施、避難体制の整備等、迅速に対応していただけた。</p> <p>○地域の安全安心が早期に確保された。</p> <p>○景観が良くなった。下流には市の温泉施設もあり周遊ルート(遊歩道)として観光と結びつけられるといいのではないかと。</p> <p>○現地発生材(巨石類)を護岸・護床材として再利用し工事が行なわれよかった。</p> <p>○堆積工により下流の既設流路工に土砂が流出しないようになり、完成後 被害は発生していない。</p>		A					
事業期間の延長、短縮理由と分析	<p>○事業用地の確保において、関係者との調整に時間を要し事業期間が延長となった</p>													④地域住民等の評価			
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	<p>○地元から流路工の環境、景観への配慮を求められ、現地発生材の巨石積みに工法変更し、事業費が増加。</p>													改善措置の必要性	改善措置の必要はない		
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成)				評価	<p>【事業の有効性】</p> <p>○上流域での治山による対策は、平成26年度に完成。砂防・治山と連携して取り組んでいる。</p> <p>【事業の必要性】</p> <p>○近年、豪雨による土砂災害が多発。土石流の整備率は約2割と低く、事業の一層の推進が求められている。</p> <p>【地域の合意形成】</p> <p>○当地は観光保養地のため、各地から多くの観光客が訪れる。景観・環境対策は、関係者と十分な調整が必要。</p> <p>○対策工は、画一的に選定せず、地域との合意形成のもと、景観・環境等を踏まえ、決定していくことが必要。</p> <p>【ソフト対策の推進】</p> <p>○平成30年の7月豪雨災害等を踏まえ、地域防災力の向上に資する住民主体の取組などのソフト対策と、ハード対策を一体的に進める必要がある。</p>									B		
	直接的効果(定量的・定性的)	<p>○災害の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人家 30戸 ・県道 600m、市道 400m、農道 1,000m ・宿泊施設 13棟 ・橋梁 3橋 ・農地 4ha ・整備後、土砂災害による下流への被害はない 													<p>今後の取り組み及び同種事業への活用と課題</p>		
	間接的効果(定量的・定性的) ※事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	<p>○生活環境・自然環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の安全安心度の向上 <p>○周辺観光地等への影響など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間150万人が訪れる観光拠点の保全は、地域振興及び活性化に寄与 				建設部公共事業評価委員会の意見	土石流に対する地域の安全性向上が図られており、一定の効果が認められた。また、地域住民の評価が高いなど、総合評価Aが妥当と判断する。	総合評価	A								
長野県公共事業評価委員会の意見		建設部公共事業評価委員会の意見が妥当であると判断する。	県の評価案	妥当													
				評価監視委員会意見	妥当	評価の決定		A									